



びえいフーズ農作物情報

2010年9月号

■天候概要

9月1日を最後に、最高気温が30℃を超える日がなくなり、最低気温は10℃を下回るようになりました。ここ1週間は北海道の秋らしい日が多く、収穫作業が進んでいます。

去年は冷夏でしたが、一転今年は高温多雨で夜間も気温が下がらない、北海道らしくない暑い夏でした。そのため農産物全般に生理障害や病気等が発生し、また収量が少なくなっています。加工メーカーや生食などで、原料の取り合いになる可能性もあります。

弊社では、いんげんに続きホールコーンの生産量も、予定数量を大幅に下回ることとなりそうです。2年連続の不作で、非常に頭の痛い状況です。

馬鈴薯



(左)馬鈴薯の収穫が本格的に始まった。

8月24日未明の集中豪雨で流されたところの近辺は、手作業で収穫している。

(右)収穫された馬鈴薯(トヨシロ)。全般的に小振りで、収量も少なめ。中心空洞など、生理障害も目立つ。

スイートコーン／にんじん



高温の影響で、スイートコーンは例年より約10日早く加工開始し、約2週間早く終了する。

(左)過熟で中央部分の粒が乾燥しシワシワになったもの。

(中央)適熟の状態。

(右)加工用にんじんとしては未だ細い。収穫まであと1ヵ月程度。

かぼちゃ



(左)収穫を終え、コンテナに入れられた様子。

(右)ブルーシートのテントに保管してあるえびすかぼちゃ。全体的に小振り。

えびす種、ケント種ともに、例年よりも収量はかなり少ない。9月下旬より加工開始する予定。

(2010.9.9、11撮影)